



編集・発行 長野市立長野図書館
〒380-0843 長野市長門町 1097-3
電話 026-232-3558
<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>



春の記録と予測

市立長野図書館では、敷地内の魯桃桜を観察し5輪ほどの花が咲いた日を開花日として長年記録してきました。今年はいつ頃だろうか、みなさまも楽しみにされていますよね。

さて、この時期になると天気予報などでは桜の開花予想が発表されますが、どのように予想するのか気になりますか。過去に気象庁が、現在は民間の気象事業者が行っている専門的な方法とは別に、簡易な方法もあるようです。例えば、2月1日から毎日の最高気温を足して、合計が600度を超えた日に桜が開花するという「600度の法則」、同様に平均気温の合計から求める「400度の法則」などが知られています。

気象庁ホームページ <https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php> から過去の気象データを検索することが出来ます。

また、図書館には気象庁のホームページに掲載された過去のデータを1年ごとにまとめた「長野県の気象概況 長野県とその周辺の地震活動」(N450 ナ)という資料があります。(館内でのみの閲覧となります。)

長野図書館の魯桃桜と気象データを、長期にわたり観察・記録すれば、「長野図書館魯桃桜 ○○の法則」を見つけることができるかも、なんて考えるのも楽しいですね。

法則が見つかったときは、ぜひ図書館までお知らせください。



※気象庁ホームページ URL はこちら



【3月映画上映予定 午後2時から3階視聴覚室】

14日(土)
 タイトル:「トータル・リコール」字幕・カラー・113分
 監督:ポール・バーホーベン
 CAST:アーノルド・シュワルツェネッガー/レイチェル・ティコティン/シャロン・ストーン
 マイケル・アイアンサイド/ロニー・コックス
 <1990年 アメリカ作品>

28日(土)
 タイトル:「ひと月の夏」字幕・カラー・92分
 監督:パット・オコナー
 CAST: コリン・ファース/ケネス・ブラナー/ジム・カーター/ナターシャ・リチャードソン
 <1987年 イギリス作品>

今月のテーマ

「図鑑大集合」



図鑑といえば、昆虫や動物、植物を思い浮かべるかもしれませんが、その他にも建築、言語、歴史、食、ファッションなど、多種多様な図鑑が出版されています。その分野に詳しくなくても、美しい写真や細密な絵、知識が詰まった文章を眺めているだけでも楽しめます。様々な分野の図鑑を集めましたので、ぜひご覧ください。新しい図鑑との出会いが待っていますよ。



図書館カレンダー

■ …休館日

開館時間 平日 9:45~19:00
土日祝 9:45~18:00

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		



新刊案内



『3・11復興ふるさとの記憶を遺す希望の文化財』山田 菜の花／著 淡交社《212ヤ》

福島県広野町の復興住宅の建設予定地で遺跡が見つかった。復興か、文化財保護か。被災地が見いだした答えとは…。東日本大震災の惨禍からの復興と文化財保存をめぐるドキュメンタリー。『朝日新聞』連載をもとに加筆修正。

『鳥たちの素敵な名前の物語』大橋 弘一／著 文一総合出版《488オ》

モズはもろもろの声で鳴く鳥、ダイゼンは宮中のごちそう、チュウヒは昼に飛ぶ中型の鷹…。鳥の名前の由来を、古典文学や歴史をひもときながら紹介する。写真も多数掲載。『BIRDER』連載に書き下ろしを加え書籍化。

『公衆トイレと糞尿処理の歴史』山崎 達雄／著 彩流社《518ヤ》

公衆トイレは、いつ頃、なぜ生まれたのか。公衆トイレの近代化の歴史を、前史にも触れながらひもとくとともに、古文書や新聞資料などの豊富な資料から糞尿処理の変遷をたどる。

『明治・大正のロゴ図鑑』友利 昂／著 作品社《674ト》

文具大手「コクヨ」の由来は「国の誉」と書いて「国誉」、全裸に靴下姿のキューピー、ドラゴンボール風ロゴなど、明治時代から大正時代にかけて生み出されたロゴマークの意外なエピソードと驚きのデザインを紹介。

『粉瘤息子都落ち択』更地 郊／著 集英社《Fサ》

上司のパワハラで退職し、アパートに引きこもっていた野中。ある時、大学時代の友人・忍から「毎月10万渡すからスト6の対戦をしてくれ」と謎の提案をされ…。異形の“底辺青春小説”。『すばる』掲載を単行本化。

『ジャカランダの樹』ガエル・ファイユ／著 早川書房《953フ》

フランスで育ったミランは、母の祖国ルワンダへ向かった。圧倒的な活気と熱量、癒えることのない傷とともに生きる人々。ミランは何度もルワンダに足を運び、人々の声に耳を傾け…。虐殺の歴史に向き合い、彼が選んだ道とは？

新着 CD 紹介



- ※ 身体に深く浸透する限りなく美しい
自然音の音楽 <<760シ>>
- ※ ツィター・レガシー <<763コ>>
- ※ 懐かしの日本映画音楽ベスト <<764ナ>>
- ※ ザ・ゴールデン・ラヴ・サウンズ <<764モ>>
- ※ ストラヴィンスキー:春の祭典 <<769ス>>

見たり聞いたり ~新着CDからピックアップ~



「シネマ・セレナーデ」

イツァーク・パールマン／ヴァイオリン 《763ハ》

今でも第一線で活動する映画音楽界のレジェンドジョン・ウィリアムズが、ヴァイオリン界の巨匠とタッグを組みました。美しい音色が奏でる名曲の数々が、スクリーンの場面を思い起こさせるアルバムとなっています。

1月・2月発表の文学賞受賞作品

第28回大藪春彦賞

『百年の時効』伏尾美紀／著《Fフ》

第41回坪田譲治文学賞

『ユニコーンレターストーリー』北澤平祐／著《Fキ》

第77回読売文学賞

〈小説賞〉『帰れない探偵』柴崎友香／著《Fシ》

〈随筆・紀行賞〉『最後の山』石川直樹／著《292.5イ》

〈研究・翻訳賞〉『物語伝承論』兵藤裕己／著

《913.43ヒ》

新書大賞 2026

『カウンセリングとは何か』東畑開人／著《146ト》